

事業所名

こころ

支援プログラム

作成日

2025年

3月

21日

法人（事業所）理念		法人理念：「和顔愛語讃嘆」私達はおだやかな顔、やさしい言葉で人をたたえ、ご利用者・ご家族、そして全ての人々の笑顔のため、明日に繋がる笑顔のために支援を行います。						
支援方針		将来を通じて尊厳が守られた自律生活の実現に向けて「自己選択・自己決定ができるようになることを目指す」						
営業時間		10時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容								
本人支援	健康・生活	①健康状態の把握：健康状態の確認を行います。体調不良などの意思表示が困難である児童には、表情など小さなサインを見逃さないよう、きめ細やかな観察を行う。 ②健康の増進：睡眠、食事、排泄の基本的な生活リズムを身につけられるよう支援する。また、口腔内機能、食事姿勢、自助具などに関する支援を行う。 ③基本的生活スキルの獲得：食事、更衣、排泄など生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。						
	運動・感覚	①姿勢、運動、動作の基本的技能の向上：日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 ②感覚の特性への対応：感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等を行う。 ③保有する感覚の活用：保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊びを通して支援する。						
	認知・行動	①感覚や認知の活用：視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 ②認知、行動の手掛かりとなる概念の形成：物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。 ③認知の偏りへの対応：情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。 ④数量、大小、色等の習得：数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得の支援を行う。 ⑤行動障害への予防及び対応：感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難から生ずる行動障害の予防、及び適切行動の対応の支援を行う。						
	言語コミュニケーション	①言語の形成と活用：具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 ②受容言語と表出言語の支援：話し言葉や文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。 ③コミュニケーションの基礎的能力の向上：指差しなどのジェスチャー、文字、記号、絵カード等を用いて、意思の伝達が円滑に出来るよう支援する。						
	人間関係社会性	①アタッチメントの形成：他者を意識し、身近な人と関係性を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 ②自己理解の支援：自分のできること、できないことなど自身の行動特徴を理解するとともに、感情の調整ができるよう支援する。 ③集団への参加：集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。						
家族支援	・家族からの相談や悩みに対しての助言 ・家族の休息、リフレッシュ ・就労事情を考慮した受け入れ時間の設定			移行支援		・ライフステージの切替を見据えた将来的な移行に向けた準備 ・学校との情報共有 ・移行先への情報提供		
地域支援・地域連携	・関係する放デイや相談支援事業所、学校への情報共有 ・隣接施設との関わり			職員の質の向上		・随時必要に応じた利用児童のケースカンファレンス ・法人負担での資格取得、研修参加の推進		
主な行事等	プール、夏祭り、ハロウィン、クリスマスなどの季節行事 / 避難訓練（毎月）							